研究機関名：旭川医科大学

承認番号	21131
課題名	骨シンチグラフィ検査の画像解析プログラムの臨床的有用性の検討
研究期間	実施許可日　～　2027 年 3 月 31 日
研究の対象	2000 年 4 月～2026 年 12 月に当院にて悪性腫瘍の骨転移検査目的で骨シンチグラフィ検査を受けられた方
利用する試料・情報の種類	■診療情報（詳細：画像情報（骨シンチグラフィ全身前後面像　DICOM 形式ファイル）、患者情報（身長・体重・年齢等、病歴特記事項、検査時特記事項、治療経過 等）） □手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：　　） □血液 □その他
研究の意義、目的	本研究は、骨シンチグラフィ検査結果の自動解析を行う画像解析プログラムの臨床的な有用性を評価することが目的です。骨シンチグラフィは、骨病変の経過観察や治療効果判定を目的として経時的に行われることが多く、病変の検出や経時的変化の評価には、骨病変を定量化することが診断精度向上に寄与すると考えられます。よって、骨病変を定量的に評価する画像解析プログラムを開発し、骨シンチグラフィ診断の標準化を図り、骨病変の経過観察や治療効果判定に有用な客観的指標提供することで、患者管理や治療方針決定に寄与できると期待しています。今回は、その解析プログラムの解析性能・臨床的有用性を評価することを目的としています。
研究の方法	骨シンチグラフィ検査の画像解析プログラムを用いて、当研究機関で実施された骨シンチグラフィの全身前後面画像データから、特徴ある領域の選定及び病変判定を行います。その結果を，核医学専門医の読影結果や臨床経過と比較し，臨床的な有用性を評価します.
その他	本研究に用いる骨シンチグラフィ画像解析ソフトウエアは，病院で購入済みの画像解析ワークステーションのバージョンアップ（無償）に伴って供給されています。 本研究に関わる研究者は、研究で用いられる製品の製造販売元である日本メジフィジックス株式会社より寄附金の受入れ、謝金の受領がありますが、本研究の実施や報告の際に、金銭的な利益やそれ以外の個人的な利益のために専門的な判断を曲げるようなことは一切ありません。また、本研究の経過を定期的に旭川医科大学利益相反審査委員会へ報告等を行うことにより、研究者と企業との利害関係について適正にマネジメントし、公平性を保ちます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障が

	ない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 　また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先および研究責任者： 〒078-8510　北海道旭川市緑が丘東２条１丁目１番１号 TEL：0166-68-2572（放射線医学講座 医局） 国立大学法人　旭川医科大学　医学部　放射線医学講座　助教　　大屋 明希子